

日本共産党 八王子市議会議員

# 望月 翔平

〒192-0065 八王子市松木 9-5-1  
 電話 642-6344 FAX 646-8055 メールアドレス: ms1129.hei@gmail.com

発行 日本共産党八王子市議団 21期—No.4 2019年第3回定例会特集

## 台風19号 被害甚大

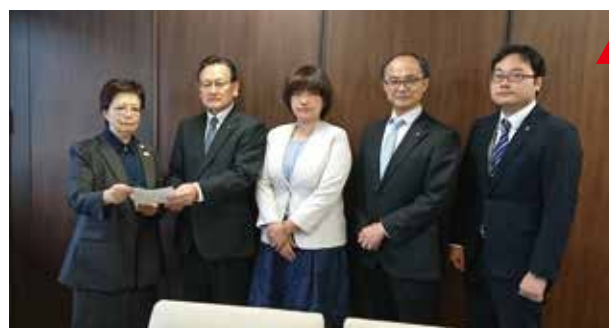
# 一日も早く生活再建へ

日本共産党市議団は全力で取り組みます

### 党市議団 台風被害緊急申し入れ

10月24日、党市議団は市長に対して、12日上陸した「台風19号被害への対策等を求める緊急申し入れ」を行いました。

申し入れ書は、この間市議団が党国会議員団や都議団と共に被災地を調査し、被災者等から出された要望に基づき緊急に対応する必要があるものを12項目にまとめたものです。



木内副市長は「ボランティアによる土砂撤去も進んでいる。補正予算も組みました。全力で丁寧に対応したい」と話しました。



恩方佐戸地区の土砂災害

視察する山添吉良参院議員

- #### 緊急要望の主な内容
- 被害実態の早急な把握、被災者への全戸訪問、罹災証明等の発効促進
  - 宅地内土砂の行政による完全撤去を、災害廃棄物の回収支援の周知
  - 被災者に、都営・市営住宅の斡旋
  - 恩方大沢・佐戸地区、大塚団地など危険な土砂災害発災地域の二次被害を防ぐ対策を早急に講ずること
  - 浅川の護岸、道路の崩落箇所の復旧工事の計画全体を明らかにすること
  - 不通になっている道路の復旧
  - 避難所の安全確保と設置場所の検討
  - 災害情報などの周知について、防災無線やホームページの課題克服
  - 城山小校庭法面の崩落危険箇所の改修についてなど

### 一般質問 加齢性難聴者に対して市独自の補聴器助成制度の創設を! 他の自治体の取り組みを調査研究すると答弁

八王子市は現在、加齢性難聴者に対する補聴器の購入助成はなく、国と同様、障がい者手帳が交付された方や難病などで医師から必要と判断された方には補装具として支給しています。しかし障がい者手帳の交付条件は日常生活が極めて困難な難聴レベル70db以上です。WHOが推奨しているのは難聴レベル41db以上から補聴器を使用することです。

これは難聴を放置すればするほど認識できる音が少なくなり、会話が減ることやうつ病や認知症の発症リスクが高まってしまつたためです。こうしたことから、一部の自治体では独自に国の基準より難聴レベルが軽度でも補聴器の購入助成制度を創設している自治体があります。

そのため私は、八王子市も補聴器の購入助成を独自に創設すべきとして市の姿勢を問いました。市からは補聴器の早期使用が医学的に有効な手段の一つと考えている。助成制度の創設については、先進自治体の取り組みの検証を行いたいとの答弁でした。

引き続き制度創設に向けて、市にも求めていくのと同時に国や都にも要請してまいります。

### 都内のエアコン設置状況と計画

区	計画
八王子	計画なし ※防災の観点で市民センター、中学校武道場に設置。3力年で10力所
立川	2020年夏に100% ※28校中1校済み。来年度までに100%方針。電気の容量など調査中
武蔵野	年度内100% ※18校中3校済み。残り15校を今年度中
三鷹	今夏小学1校、来年中1校に設置し、検証。来年度予算に設置方向で反映する方針 ※小学13校、中学7校。今夏、小学1校はスポット型、中学1校は設置型で検証
青梅	検討中
府中	小学22校は今年度中100%。中学は来年度以降に検討中 ※吊り下げタイプに。子どもの安全第一に設置急い
昭島	今年6校、残り13校は2021年度までに100%
調布	今年度中学6校設置、2校は来年度以降改修と併せ。小学20校は検討中
町田	2021年度末までに62校100%目指し、実施設計中
小金井	今年度小学校1校設置。他は未定
小平	検討中 ※小学19校、中学8校 現在0
日野	中学校は2020年度2校、21年度残り6校、小学校は検討中
東村山	中学校は今年度調査、小学校は未定
国分寺	今年、中学1校を整備、残り4校は来年度以降順次。小学校(10)は未定
国立	2021年度で100%の方針(改築校を除く) ※今年度=中学2校、来年度=小学3校、中学1校
福生	100%設置済み(基地対策)
狛江	小中各1校設置済み。2021年度までに100% ※今年度=小学1校、来年度=小学1校、中学3校、再来年度=小学3校
東大和	今年度設計委託。2020年度に100% 小学10校、中学5校
清瀬	検討中 ※小学9校、中学5校 現在0
東久留米	現在ゼロ。検討中 ※教育委員会としては設置を希望
武蔵村山	今年度中学1校に設置、残り13校は未定。小学校は未定 ※教育委員会としては設置を希望
多摩	今年度中学1校に設置、検証。残り9校は設置方向で検討。小学校(17)は未定 ※中学校は部活動など使用頻度の高いところから優先
稲城	今年度中に100%(小学12校、中学6校)。入札に向け準備中
羽村	今年中に中学1校に設置。来年度以降に残り中学2校に設置予定。小学校は未定
あきる野	2020年度100%設置方針。来年度予算編成に向けて検討中 ※小学10校、中学6校
西東京	来年度中学7校(建替中、老朽化で建替検討の各1校を除く)を優先して設置方針で、調査中。小学18校はその後に検討予定

■今年度までに100% ■20年度中100% ■21年度中100% ■その他 ■計画未定

### とんでもない 公明党の的外れな共産党攻撃

決算代表質疑で、公明党議員から「共産党会派は空調設置を求め質問したが、都議会では当初予算に反対し整合性がなく、空調整備を推進する立場とは言えない」という攻撃をしてきました。発言の撤回を求めましたが、公明党は応じませんでした。共産党都議団は空調設置推進を求め、補助制度の条例提案も行い、補正予算は全会一致で可決しています。31年度予算に反対したから「空調設置に反対」などという批判は通用しません。

議長からも「議員の発言は『品位の保持』が求められている」と、この発言への見解が述べられています。

共産党市議団は、猛暑で体育授業が変更される事態を受け、体育館にエアコン設置を求めてきました。他市では、課外授業で熱中症による死亡事故があったことも指摘し、検討さえしていないことは、子どもたちの「いのち」に関わる問題を後回しに

していると厳しく質しました。市は「構造上の問題や電気代など費用面で設置が困難。暑い日に体育授業をすることがおかしく他の授業へ変更する」などと答弁し計画していません。全体育館へ設置を決めた自治体もあり、都の補助を受け、全て

の区市が何らかの方法で進めています。子どもたちや市民からも早く設置してほしいという要望が出され、請願署名の運動が進んでいます。

# 学校体育館にエアコン設置を 異常な暑さで体育館が使えない!?! 終業式の会場を教室に変更



ご相談はお気軽に

日本共産党八王子市議団(控室) ▶ 電話 620-7317 FAX 626-3398  
 日本共産党八王子地区委員会 ▶ 電話 642-6344 FAX 646-8055  
 市政へのご意見・ご要望をお聞かせください。



# 大型開発優先の「攻めのまちづくり」より 貧困と格差の是正こそ

日本共産党市議団

## 開発優先の補助金は認めない

貧困と格差の弊害が子どもたちにまで広がるなか、市は富士森公園陸上競技場など使用料値上げを決め、さらに国民健康保険税の連続値上げを強行しました。その一方、八王子駅北口マルベリーブリッジの延伸を進め、川口地区物流拠点の整備では、条件に反した補助金交付を行うなど、開発を優先してきました。共産党市議団は2018年度決算に反対しました。

## 行きづまる「攻めのまちづくり」

市は、川口地区の物流拠点整備を目的とした区画整理事業に、支出の20%を交付するとしてきました。しかし、環境アセスメント調査で使った費用は、ほぼ全額(9億2千万円)を交付し、後押しをしました。また、アセスメント調査の事後報告書には、まだ始まっていない工事を完了したとする行程表を添付する、ずさんなものでした。工事はいままもなく進んでいません。

また、八王子インター北地区へのイオン出店は、大幅に遅れ、現在も出店計画はありません。市内のすべての商店会が、「死活問題」として反対したのを押しきり、強行した市長の責任が問われていません。

都の産業交流拠点と一体に整備するとしてきた旭町・明神町の再開発も、市が方針を示せず、都が先行せざるを得ませんでした。市長の言う「攻めのまちづくり」が行きづまっていることを象徴しています。

### 学童保育所整備を求める請願

## 賛成多数で採択

自民党・市民クラブが反対

働きながら障害児を育てられるよう学童の抜本的整備を求めて請願が提出されました。市の規定では、6年生まで必要に応じて学童に入所できますが、実際には、市内85%の施設が3年生(障害児は4年生)までしか募集していないため、障害児をはじめ多くの児童が入所できません。障害児をもつ親は仕事を退職・制限せざるをえないのが実態です。

党市議団は、「学童は地域の子どもたちのつながりを強くし、障害児の成長に資する」として整備を主張。賛成多数で採択されました。



### 富士森競技場の有料化反対請願

## 不採択に

自民党・公明党などが

富士森公園陸上競技場有料化に反対し、無料の継続を求める請願が5417人の署名つきで提出されました。

長年市民から親しまれ、子どもやお年寄りも無料で使える施設でしたが、市は今年3月、子ども50円、高校生100円、大人200円に有料化することを決定。地域住民は市に無料開放を継続するよう求めてきました。

請願には、共産、立憲民主・市民の会、生活者ネット、諸派(1名)が賛成、自民、公明、市民クラブ(1名は退席)、諸派(2名)が反対し、不採択となりました。



陸上競技場イメージ図(市の資料より)

## 核兵器禁止へ 市議会意見書採択!

うれしい  
ニュース!

今年6月の定例会で、市民団体からの要望を受けて共産党市議団が提出した核兵器禁止条約批准を求める意見書が賛成多数で採択されました。条約には現在33か国が批准(50か国で発効)、しかし日本政府は批准していません。意見書採択は大きな意義を持ちます。



写真は、国連で採択された時のものです(2017年7月)

## 高額な補聴器に補助を 求める意見書を提案

難聴の放置は、うつ病や認知症の原因ともなり、早期の補聴器使用が推奨されています。党市議団は、加齢による難聴者への補聴器購入の補助を求める意見書を提案。

しかし、自民・公明などの反対で不採択となりました。



## 「幼児教育・保育の無償化」給食費を徴収、新たな負担!!

市は、3歳から5歳の給食費を4500円、徴収することを決めました。これまで給食費は保育料にふくまれていましたが、別途徴収することになり、低所得者ほど軽減率が低くなります。また、0歳から2歳だけでなく、3歳以上の子についても、「保育の無償化」とはなりません。

共産党市議団は、保育料軽減のために市が投入してきた5.5億円を使って給食費も無償化するように求め、徴収に反対しました。

また、23区中、20区が給食費の徴収は行いませんが、多摩地区では2区のみです。

共産党市議団は、都に多摩地区への財政援助を求め、市の見解を質しました。市から「市長会を通じて働きかける」と回答がありました。